

## 御殿場市における校舎改築事例について

### ～近年改築した小中学校校舎の設計コンセプト及び特徴について～

#### 1. 高根中学校校舎改築事業 [平成22年8月完成]

##### ～基本コンセプト～

- ・高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備により、「確かな学力保障」を目指す
- ・「豊かな人間形成」や「健やかな心身支援」を育む安全でゆとりと潤いのある施設整備
- ・地域・家庭との交流・連携に配慮した、開かれた学校の構築
- ・富士山ふもとの特色ある立地条件を踏まえた魅力ある施設景観と眺望性の確保
- ・省エネ省資源など環境保全に配慮した施設づくり

##### [外観計画]

- (1) 高根中学校の立地場所が郊外地の緑豊かな地域であり、敷地南側には清流（竜良川）が流れ落ち着きのある環境であることから、周辺の自然に馴染みながら、周辺環境に対峙できる力強い施設をイメージして計画した。

##### [平面計画]

- (2) 多様な授業や学習活動を展開させるため、学年単位で一つの空間を構成しながらも、小規模単位でも独立性を確保できるように普通教室と多目的スペース（ワークスペース）の配置に配慮した。
- (3) 豊かな人間形成や健やかな心身支援に配慮し、クラスや学年を超えた生徒達の交流が可能なランチルームを設置した。

##### [内装計画]

- (4) 内装の木質化により、木のぬくもりや素材そのものの質感を感じられるように配慮した。

##### [環境配慮計画]

- (5) 要所にLEDの照明器具や自動点滅器を採用し、節電、環境負荷の低減等に配慮した。
- (6) 環境教育と環境負荷の低減に資するため、太陽光発電設備 10kw を設置した。

##### [その他]

- (7) 電子黒板（ディスプレイ型、移動式）を各教室に設置し、電子黒板を利用した授業が円滑に運営できるよう配慮した。
- (8) 電子黒板の導入にあわせ、校内放送システムについては校内ネットワークを利用するシステムを採用し、電子黒板の有効性を高めるとともに、デジタル教材が容易に利用可能な環境に配慮した。

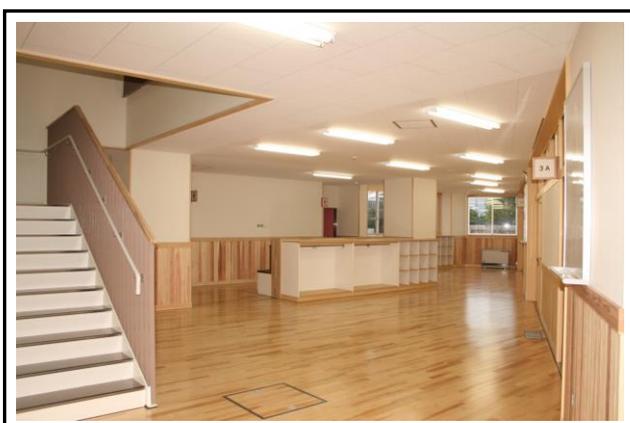


### 【校舎正面より】

周辺の自然に馴染む意匠を意識し、校舎正面からシンメトリーな外観とした。背後の富士山と同様に力強い印象を与えながらも、外壁は落ち着きのある色合いで周辺環境との融合に配慮した。

### 【ランチルーム】

全校生徒が一同に会して給食を食べることができるランチルーム。生徒たちがクラスや学年を超えて交流することが必然的になる空間を意識した。ランチルームとしてばかりでなく、多種多様な利用が可能なスペースでもある。



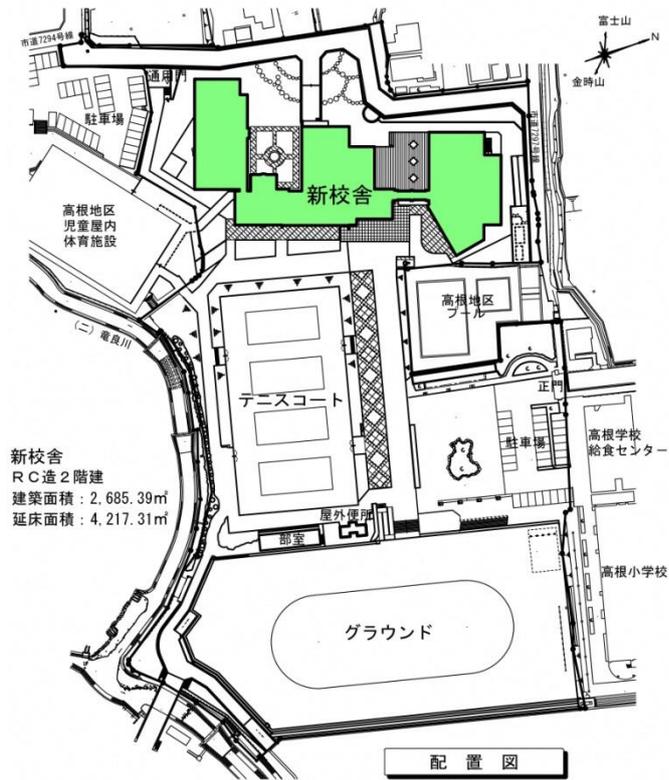
### 【ワークスペース】

普通教室に隣接したスペースで、少人数指導やワークスペースとしての利用を想定しているが、生徒主体の自由な発想で利用できるような空間を意識した。空間を雁行させることで独立性を確保することも可能である。

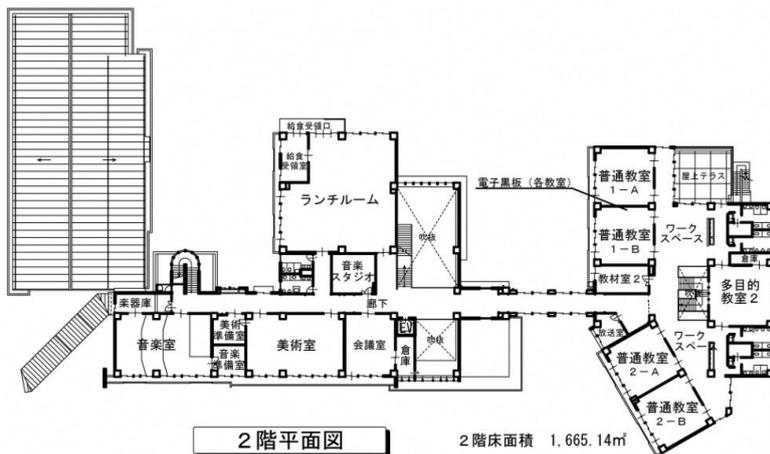
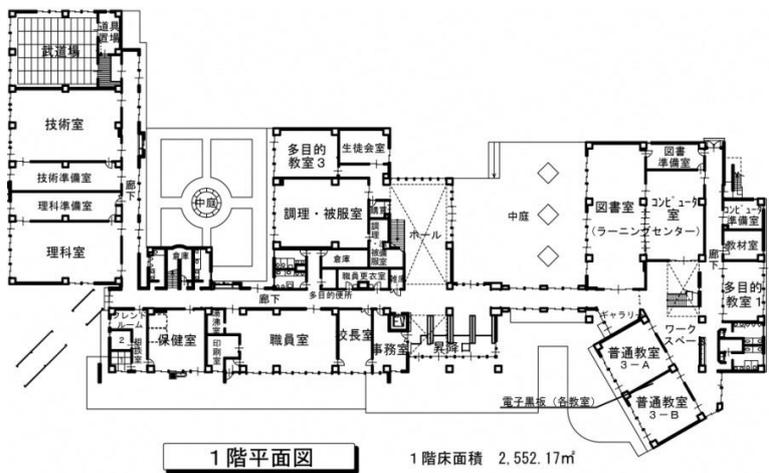
### 【普通教室】

校舎全体の内装を木質化することで、ぬくもりのある空間となっており、落ち着きのある学習空間づくりを意識した。普通教室には移動式の電子黒板が配置され、普通教室で総合的な学習が可能となっている。





改築事業費	
設計監理費	48,000 千円
改築工事費	1,011,400 千円
計	1,059,400 千円
	(面積当たり 251,200 円/㎡)



## 2. 南中学校屋内運動場改築事業 [平成23年9月完成]

### ～基本コンセプト～

- ・多様な用途に対応し得る弾力的な施設環境の整備により、芸術文化と体育武道を通し「学びの充実」を目指す
- ・「こころの充実」や「夢の充実」を育む、安全でゆとりと潤いのある施設整備
- ・地域や家庭との交流や連携から生徒の「自分探しの学び」の充実を育てていく、開かれた施設の構築
- ・富士山ふもとの特色ある立地条件を踏まえた魅力ある施設景観と眺望性の確保
- ・省エネや省資源など環境保全に配慮した施設づくり

### [外観計画]

- (1) 南中学校は、グラウンド側からの富士山の景色は中学校の原風景となっており、敷地は住宅に囲まれた閑静な環境を背景に、新しい学校の顔として周辺環境と共生できるアースカラーを基調とした優しい施設イメージの外観とした。

### [平面計画]

- (2) 生徒が安心安全に各種施設を利用できるよう、校舎、屋内運動場、グラウンド、部室、武道場への移動経路は交差動線のない管理しやすくアプローチしやすい施設配置計画とした。
- (3) アリーナは地域開放を考慮したセキュリティゾーン計画を行い、地域開放エリアと学校専用エリアが明確に区分できる平面計画を行った。
- (4) 併設する武道場は玄関ホールからアプローチしやすい位置に設け、2階の卓球場1にプラスして、アリーナの観覧スペースも兼ねた卓球場2を設けスペースに拡張性を持たせた。

### [内装計画]

- (5) アリーナと卓球場の床仕上げには、耐摩耗性や耐水性に優れたスポーツ用弾性ビニル床シートを採用し生徒や施設利用者の安全性に配慮した。
- (6) アリーナの屋根を支える梁は木造大断面集成材とし、アリーナ壁材には木質系有孔パネルやステージ上部の天然木乱張りより、木の温かみを生かした落ち着いたきのある木質系の教育空間を演出した。

### [環境配慮計画]

- (7) アリーナ照明は、高効率形のメタルハライドランプを採用した。
- (8) 便所内は、LED+人感センサーにより消し忘れ防止を含め消費電力を低減し、武道場と卓球場の照明器具は、初期照度補正機能付により消費電力を削減し、CO2排出量を抑制する計画とした。
- (9) 衛生設備に節水型の便器を採用し、排水配管にはリサイクル硬質塩化ビニル管を採用して環境に配慮した器具や建材を採用した。

### [その他]

- (10) 運動や武道の充実のみならず、芸術文化の施設としても合唱や演劇、オペラの講演や南中太鼓などの活動に配慮した音響、舞台照明、放送設備などの充実を図った。



### 【屋内運動場西側より】

閑静な住宅を背景に南中学校の新しい学校の顔として、周辺の自然環境と共生できるアースカラーを基調とした優しいイメージの外観となるように配慮した。

### 【アリーナ】

アリーナ床材は安全性や耐摩耗性、耐水性に優れたスポーツ用弾性ビニル床シートを採用し、維持管理の向上や安全性を考慮した。アリーナ天井の梁組は木造大断面集成材を採用し、内装材には木質系有孔パネルや天然木乱張りを採用することで、木の温かみを生かした落ち着いたある教育空間を演出した。



### 【武道場】

武道場は玄関ホールからアプローチしやすい位置に配置し、地域開放や学校行事などへの多種多様な行事への対応を考慮した。柔道場のみならず、剣道場を兼用として効率的にスペースを有効活用した。

### 【卓球場】

2階卓球場の床材はアリーナと同様に、安全性、耐摩耗性、耐水性に優れたスポーツ用弾性ビニル床シートを採用し、卓球台などと対比させた配色計画をして競技上の視認性を高めた。また、アリーナとの空間を一体化させることにより施設内の通風や採光に配慮した。



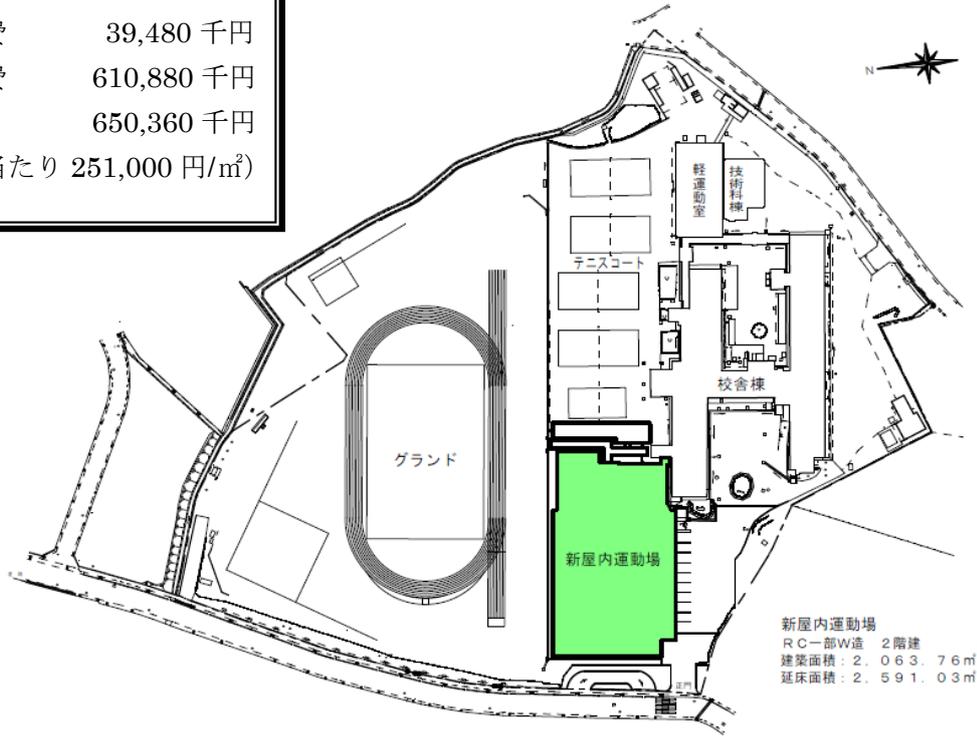
改築事業費

設計監理費 39,480 千円

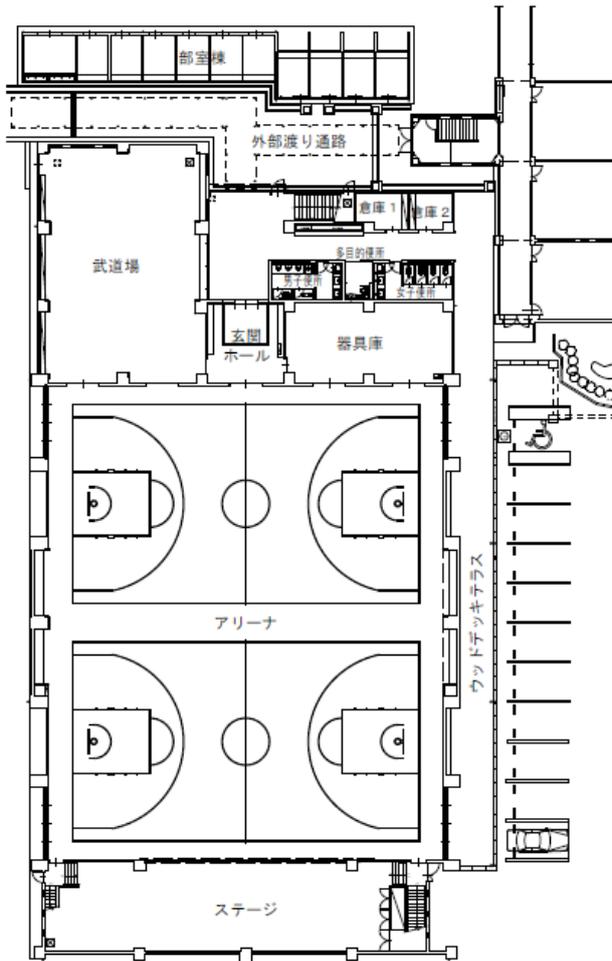
改築工事費 610,880 千円

計 650,360 千円

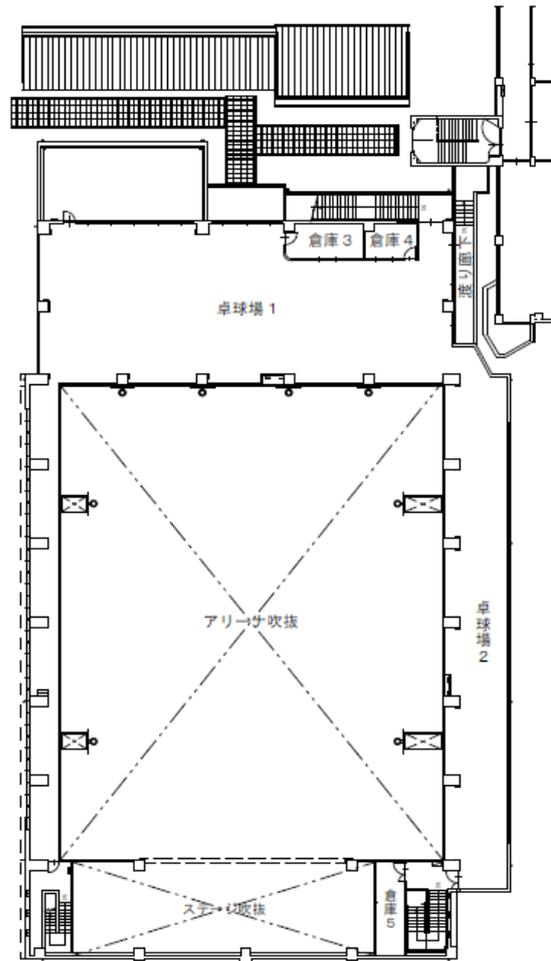
(面積当たり 251,000 円/m<sup>2</sup>)



新屋内運動場  
RC一部W造 2階建  
建築面積: 2,063.76m<sup>2</sup>  
延床面積: 2,591.03m<sup>2</sup>



1階平面図



2階平面図

## ～基本コンセプト～

- ・高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備による「しっかりと学ぶ」環境づくり
- ・「こころ豊か」で「健康な子」を育てる安全でゆとりと潤いのある施設整備
- ・地域との交流・連携に配慮した、開かれた学校の構築
- ・富士山ふもとの特色ある立地条件を踏まえた魅力ある施設景観と眺望性の確保
- ・省エネ省資源など環境保全に配慮した施設づくり

## [外観計画]

- (1) 玉穂小学校の立地場所が郊外地の緑豊かな地域であることから、低層で周辺的环境に溶け込むような校舎とすることをコンセプトに、低層（2階建て）で勾配のある屋根とし、外壁もアースカラーを基調とした配色とした。

## [平面計画]

- (2) 普通教室の配置について、学年単位で一つの空間を構成できる計画とし、学年ごとの活動や交流等に配慮した。
- (3) 多目的スペースを普通教室に隣接させ、普通教室と多目的スペースの一体利用と、教師や児童の自由な発想により利用できるように配慮した。

## [内装計画]

- (4) 内装の木質化により、木のぬくもりや素材そのものの質感を感じられるように配慮した。
- (5) 校舎内の壁は、児童の作品や自由な掲示などにより、学校の特色やカラーを表現することをイメージして、白木調のシナ合板貼りとした。
- (6) 多目的スペースの天井に木製格子を設置し、意匠的な配慮のみならず、児童の作品等を掲示できるように配慮した。

## [環境配慮計画]

- (7) 要所にLEDの照明器具や自動点滅器を採用し、節電、環境負荷の低減等に配慮した。
- (8) トイレの手洗いに自己発電型充電式の自動水洗を採用し、節電、衛生面等に配慮した。
- (9) 環境教育と環境負荷の低減に資するため、太陽光発電設備 3kw を設置した。

## [その他]

- (10) 電子黒板（ディスプレイ型）を各教室の上下式黒板と一体設置（左右スライド可能）し、電子黒板を利用した授業が円滑に運営できるよう配慮した。
- (11) 電子黒板の導入にあわせ、校内放送システムについては校内ネットワークを利用するシステムを採用し、電子黒板の有効性を高めるとともに、デジタル教材が容易に利用可能な環境に配慮した。



### 【校舎正面より】

正門から入ると正面に学校の玄関があり校舎の背後には富士山が控えている。周辺の環境、景観に配慮した意匠を意識した。校舎の内部からも、雄大な富士山を望むことができる。

### 【1階ホールのメイン階段】

児童昇降口を抜けると、ホールに吹き抜けでゆとりのあるメイン階段がある。ホールや廊下の壁はシナ合板を用いて、児童の絵画や掲示により色を付けてもらうことを意識した仕上げとしている。



### 【普通教室】

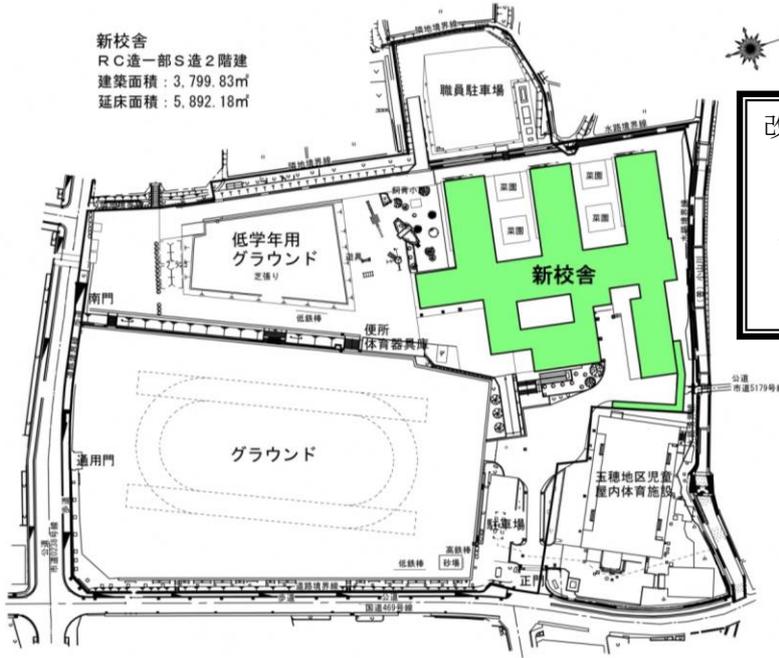
内装は木質化により、ぬくもりと木の素材が感じられる仕上げを意識した。黒板に備え付けられた電子黒板は、授業で円滑に利用ができるように配慮し、校内放送やデジタル教材等も映し出す事が容易にできる。

### 【多目的スペース】

普通教室3室に隣接し、間仕切りの戸を解放し、一体利用することも可能。学年単位で空間を形成しているため、様々な利用形態に対応ができる。天井には木製格子が取付けてあり、児童の絵画等の作品を吊るして展示することもできる。



新校舎  
 R C造一部S造2階建  
 建築面積：3,799.83㎡  
 延床面積：5,892.18㎡



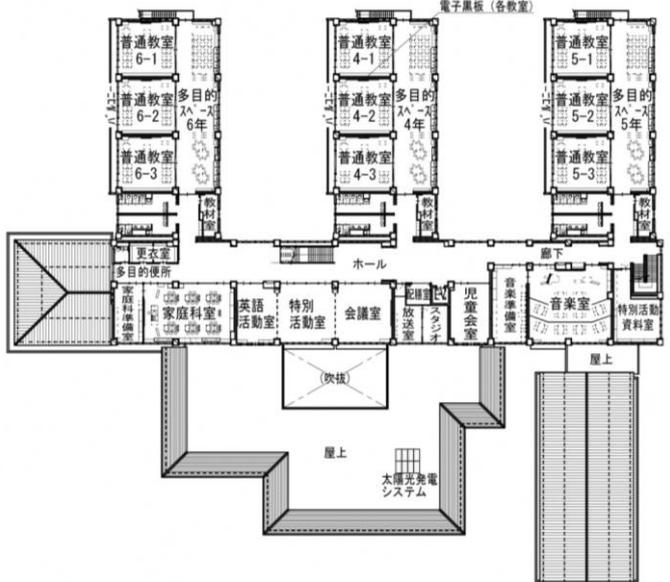
改築事業費	
設計監理費	71,800 千円
改築工事費	1,316,600 千円
計	1,388,400 千円
(面積当たり 235,600 円/㎡)	

配置図



1階平面図

1階床面積 3,515.23㎡



2階平面図

2階床面積 2,346.13㎡

## ～基本コンセプト～

- ・ 多様化する教育環境に、高機能かつ多機能で変化に対応できる弾力的施設環境の整備による、『意欲的に学べる』環境づくり
- ・ 積極的に人と関わり、助け合いながら、意欲的に学び合える空間整備
- ・ 児童や教師が安全かつ安心して過ごせる施設整備
- ・ 地球環境にやさしく、自然の大切さを学べる学校づくり
- ・ 伝統や歴史、思い出を継承する学校づくり

## [外観計画]

- (1) 原里小学校の立地場所が郊外地の住居地域であることから、地域のシンボルとなるような校舎とすることや伝統継承をコンセプトに、旧校舎のシンボルであった大時計を配し、伝統の中にも新しさを兼ね備えた外観に配慮した。

## [平面計画]

- (2) 回廊式に計画することで、児童等の動線を単純化させ、広い校舎の中でも見通しの良い校舎になるように配慮した。
- (3) 回廊式校舎の内側に中庭を配し、児童が気軽に運動や遊び、学習活動ができるように配慮した。
- (4) 普通教室の配置について、学年単位で一つの空間を構成できる計画とし、学年ごとの活動や交流等に配慮した。
- (5) 多目的スペースを普通教室に隣接させ、普通教室と多目的スペースの一体利用と、教師や児童の自由な発想により利用できるように配慮した。

## [内装計画]

- (6) 内装は児童の健全な生活環境を意識し、明るさと清潔感に配慮した。窓の額縁やベンチなどに木材を利用することで、より木材が映えるように計画した。
- (7) エリア毎（普通教室、特別教室、管理諸室）のカラーをサインや階段手すり等に利用して、校舎内の位置の明瞭化や、認識性を高めるように配慮した。

## [環境配慮計画]

- (8) 要所にLEDの照明器具や自動点滅器を採用し、節電、環境負荷の低減等に配慮した。
- (9) トイレの手洗いに自己発電型充電式の自動水洗を採用し、節電、衛生面等に配慮した。
- (10) 環境教育と環境負荷の低減に資するため、太陽光発電設備 1kw を設置した。

## [その他]

- (11) 電子黒板（プロジェクター型）を各教室の上下式ホワイトボード上部に設置し、電子黒板を利用した授業が円滑に運営できるよう配慮した。
- (12) 電子黒板の導入にあわせ、校内放送システムについては校内ネットワークを利用するシステムを採用し、電子黒板の有効性を高めるとともに、デジタル教材が容易に利用可能な環境に配慮した。



### 【校舎正面より】

グラウンドに面した校舎の一部を2階にすることで、建物による圧迫感を低減し、背後の富士山の景観に配慮した。また、大きな校舎であることから、窓等に曲面を用いることで、無機質な大きな建物に見えないように配慮している。

### 【中庭】

校舎を回廊式に計画し、中庭をセンターテラスとして、様々な活動に利用できる様に配慮した。仕上げはゴムチップ舗装であり、弾力性に富み、縄跳びやかけっこ、一輪車など多機能に利用できる。広さはバスケットコートが2面配置できる大きさとなっている。

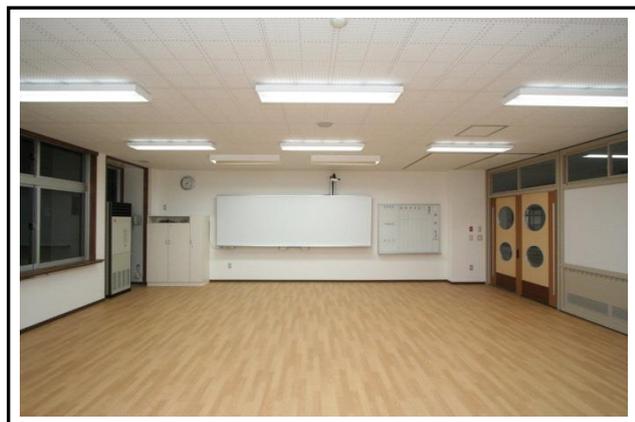


### 【児童昇降口】

校舎内装は清潔感のある白を基調とした仕上げとし、窓枠等に木材を利用することで、要所に利用した木材が映える空間になっている。回廊式の校舎の為、エリア毎や階段毎のカラーをサイン等に利用して、位置が容易に分かるように配慮した。

### 【普通教室】

廊下側の壁は可動間仕切りにしており、廊下との一体利用や隣接の多目的ホールとの連携利用に配慮している。ホワイトボード上部に備え付けられた電子黒板（投写式）は、授業で円滑に利用できるように配慮し、校内放送やデジタル教材等も映し出す事が、容易にできる。

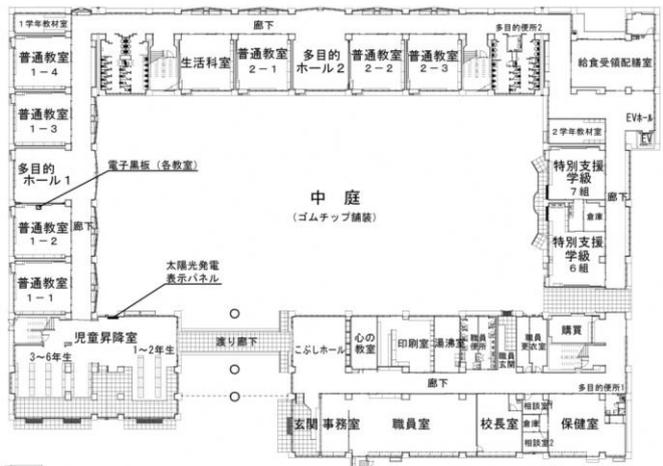




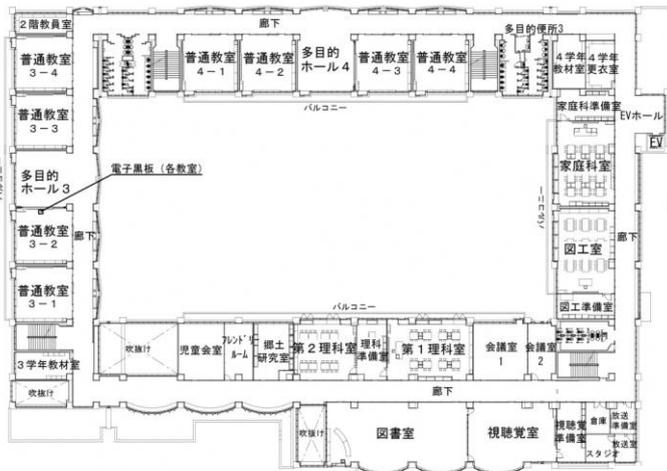
配置図

新校舎  
RC造3階建  
建築面積：3,465.49㎡  
延床面積：8,016.05㎡

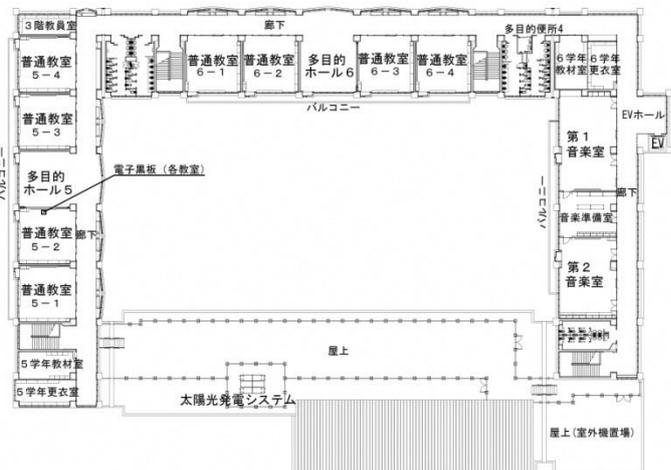
改築事業費	
設計監理費	110,100 千円
改築工事費	1,293,400 千円
計	1,403,500 千円
(面積当たり 175,100 円/㎡)	



1階平面図 1階床面積 3,007.87㎡



2階平面図 2階床面積 3,047.08㎡



3階平面図 3階床面積 1,961.10㎡

## ～基本コンセプト～

- ・『分かる授業』を支援する高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備
- ・学習及び生活の場として、ゆったり温もりを感じる安全・安心な施設整備
- ・地域の人達との交流を大切に、生涯学習の場・防災拠点としての活用に配慮した施設
- ・印野地区の特性を生かし富士山に映える施設景観と眺望性の確保
- ・地球温暖化等の環境への負荷低減に配慮した施設整備

## [外観計画]

- (1) 印野小学校の立地場所が郊外地の緑豊かな地域であることから、低層で周辺的环境に溶け込むような校舎とすることをコンセプトに、低層（2階建て）で勾配のある屋根とし、外壁もアースカラーを基調とした配色とした。

## [平面計画]

- (2) 社会全体の急速なデジタル化が進む一方で、児童の孤立や活字離れ等が懸念されることから、図書室と多目的スペースを中心とした平面計画とし、本に慣れ親しむこと、交流を図ることが自然と身に付くように配慮した。
- (3) 普通教室の廊下側の間仕切り壁を可動式とし、廊下部分と一体利用可能な空間とし、隣接の多目的教室を含め、教師や児童の自由な発想により利用できるように配慮した。

## [内装計画]

- (4) 地域の協力により、地場産の木材を使った内装の木質化により、木のぬくもりや素材そのものの質感を感じられるように配慮した。

## [環境配慮計画]

- (5) 御殿場市の中でも標高の高い位置に学校があるため、断熱等に配慮しペアガラスを採用した。
- (6) 東富士演習場に近いため、演習の砲撃音による障害が大きいことから、気密性の高いサッシの採用、空調設備の採用など、防音に配慮した。
- (7) 要所にLEDの照明器具や自動点滅器を採用し、節電、環境負荷の低減等に配慮した。
- (8) トイレの手洗いに自己発電型充電式の自動水洗を採用し、節電、衛生面等に配慮した。
- (9) 環境教育と環境負荷の低減に資するため、太陽光発電設備 17kw を設置した。

## [その他]

- (10) 電子黒板（ディスプレイ型）を各教室の黒板（左右引き分け式ホワイトボード）の背面に設置し、電子黒板を利用した授業が円滑に運営できるよう配慮した。
- (11) 電子黒板の導入にあわせ、校内放送システムについては校内ネットワークを利用するシステムを採用し、電子黒板の有効性を高めるとともに、デジタル教材が容易に利用可能な環境に配慮した。

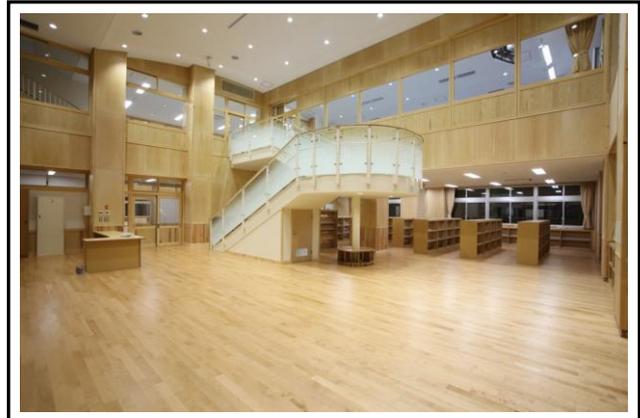


### 【校舎南東より】

正門から校舎を望むと、背後に富士山が望め、周辺の環境、景観に配慮した意匠を意識した。多目的ホールからも、雄大な富士山を望むことができ、学校生活の中で常に富士山を身近に感じることができる。

### 【図書室】

校舎の中心に配置し、日常的に本に慣れ親しむことを意図した。中央にある階段でコンピュータ教室と一体利用でき、調べ学習等に対応可能であり、メディアセンター的な利用も可能な空間としている。多目的ホールとの連携利用もできる。



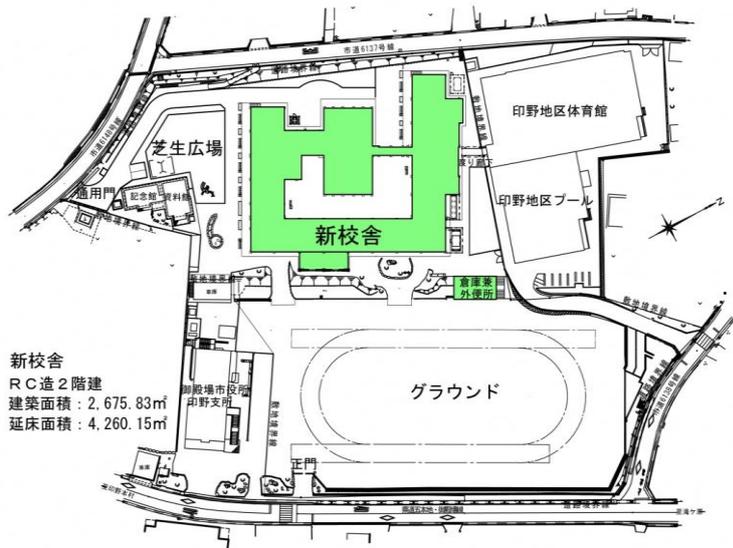
### 【多目的ホール】

多種多様な利用が可能なスペースで、児童の主体的な活動や、創造性を発揮できる空間を意識して計画した。図書室とともに学校の中核となる空間としており、地域住民との交流活動にも配慮している。(外部からの出入りに対する配慮や床暖房設備の導入など)

### 【普通教室】

腰壁に地場産の木材（杉板）を貼り、ぬくもりと木の素材が感じられる内装とした。ホワイトボードの背面には、電子黒板を備え付け、授業で円滑に活用できるように配慮し、校内放送やデジタル教材等の映し出す事が容易にできる。





新校舎  
RC造2階建  
建築面積：2,675.83㎡  
延床面積：4,260.15㎡

配置図

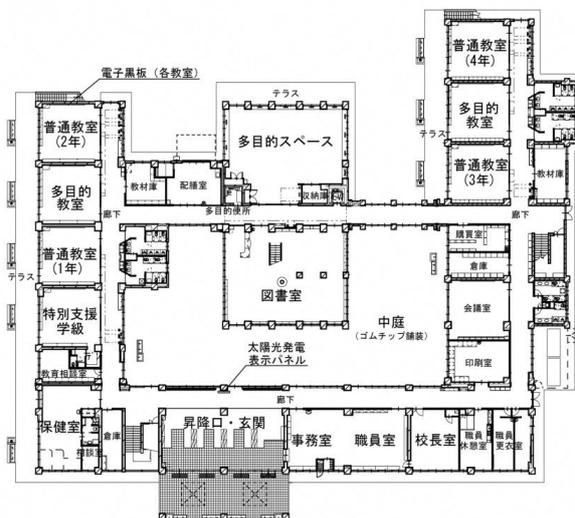
改築事業費

設計監理費 84,700 千円

改築工事費 1,270,800 千円

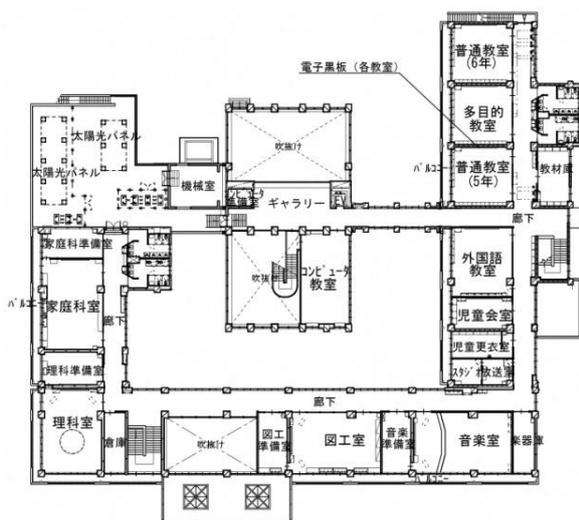
計 1,355,500 千円

(面積当たり 318,200 円/㎡)



1階平面図

1階床面積 2,439.51㎡



2階平面図

2階床面積 1,820.64㎡

～基本コンセプト～

- ・ 自然と歴史を感じながら、豊かな心を育む施設整備
- ・ 良好な学校環境の形成に結びつく施設整備
- ・ 地域の安心・安全なまちづくりに資する施設整備
- ・ 地域活動を促進する施設整備

【外観計画】

- (1) 富士山の眺望が大変良い地区の為、富士山との調和を図る計画とし、尋常小学校の建物の面影を感じられる意匠とした。
- (2) 外壁仕上は清潔感を意識し、開口部を可能な限り均等配列して周辺景観に対して圧迫感を与えない意匠とした。

【平面計画】

- (3) 多種多様な利用計画に基づき、使い勝手の良い平面計画とした。
- (4) 多機能な施設の為、機能毎の緩衝スペースとして、ホール部分にゆとりを持たせる計画とした。

【内装計画】

- (5) 木造の構造部を現しにする事で、木材への親しみと感心を持たせる意匠とした。
- (6) 地域で所有してる県産材をふんだんに利用して、柔らかな意匠を意識した。
- (7) 木材を格子状に配置しながら凹凸を持たせる事で、内装に軽快感を持たせた。
- (8) 床には爽快感のある色のシート仕上げを採用する事で、木質の内装へのアクセントとした。

【環境配慮計画】

- (9) 使用木材を全て国産材とし、ウッドマイレージへの配慮を行った。
- (10) 南・北面へ開口部を配置し、通風を確保しやすい採風計画とした。
- (11) LEDの照明器具や調光制御・自動点滅器を採用し、節電・環境負荷の低減等に配慮した。
- (12) 便所内の手洗いに自己発電型充電式の自動水洗を採用し、節電・節水と衛生面に配慮した。

【その他】

- (13) 外壁を明るい色にした為、開口部周りの外壁への経年による汚れ対策として、額縁・庇を配置し、雨垂れ等による汚れ対策に配慮した。
- (14) 木造特有の曲線加工を用いて、尋常小学校の玄関のムクリ屋根の木組み意匠を模して、歴史を感じる一端を意識した。



### 【体育館(屋内運動場)南側より】

旧尋常小学校の玄関部の木組みを模した意匠とし、歴史を感じられるように配慮した。また、建物を平屋造りにすることで施設内のバリアフリー化や、移動動線の短縮化・簡易化を図った。

### 【アリーナ】

木造の木組みを顕しにし、壁には県産材の桧板をふんだんに使用して、柔らかく優しい意匠イメージとした。アリーナ内の側面にはベンチを配置し、競技の合間を含めイベント時にも、休憩を確保しやすい作りとした。

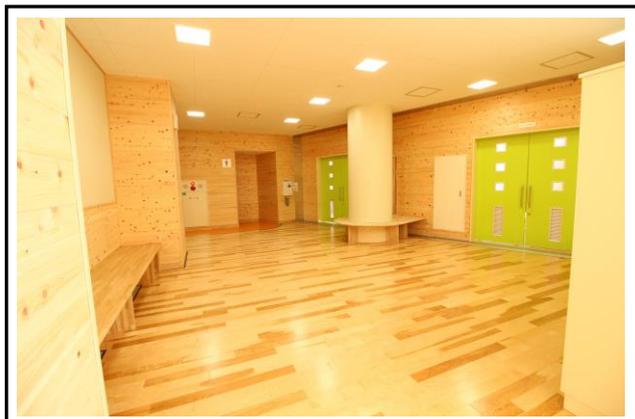


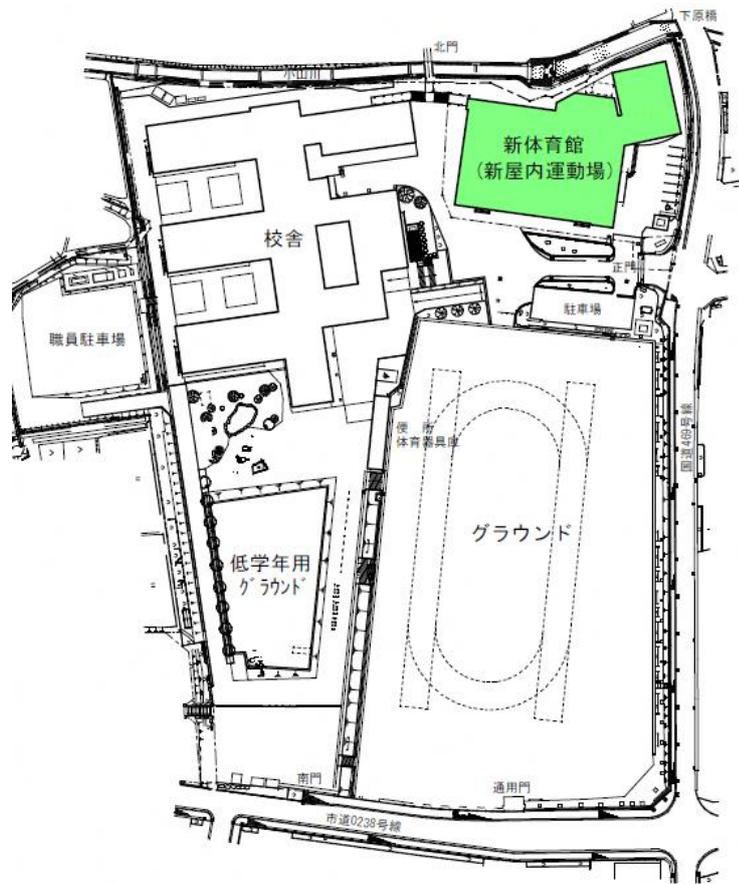
### 【トレーニングルーム】

床・壁・天井を完全な木造空間とし、木のぬくもりを感じられる空間とした。また、大型サッシを採用し、施設内の採風・採光に配慮し、柱・壁の出っ張り部には、木材と対照的な色の緩衝材を設置して、視認性や安全性を高めた。

### 【ホール】

各エリアの連結空間としての役目を有し、休憩・談話スペースとしての利用も考慮して、柱周りや壁内の随所にベンチを設置した。単に通路としての役目だけではなく、昼食休憩や各種大会・イベント時など、学校運営や地域行事の際に多様な使い方を可能にした。

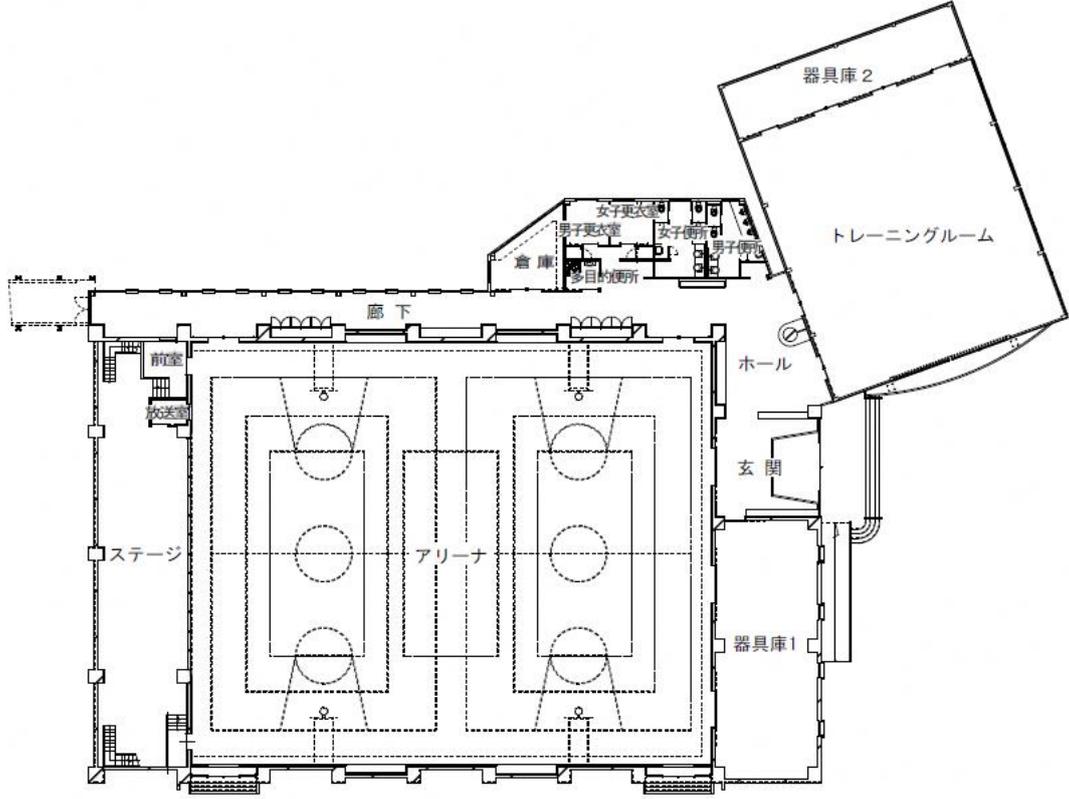




改築事業費	
設計監理費	46,596 千円
改築工事費	546,784 千円
計	593,380 千円
(面積当たり 308,700 円/m <sup>2</sup> )	



新体育館(新屋内運動場)  
 RC造一部S造及びW造  
 建築面積：1,967.75㎡  
 延床面積：1,922.20㎡



平面図

## ～基本コンセプト～

- ・『わかる！できる授業』を支援する高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備
- ・学習及び生活の場として、ゆったり温もりを感じる安全・安心な施設整備
- ・地域の人達との交流を大切に、生涯学習の場としての活動に配慮した施設
- ・『樺山の森・樺山の池』の保全整備と、敷地内樹木の適切な整備を行い、自然の中の緑豊かな学校環境
- ・地球温暖化等の環境への負荷低減に配慮した施設整備

## [外観計画]

- (1) 西中学校の立地場所が郊外地の緑豊かな地域であり、敷地内は歴史のある自然があることから、自然と歴史の継承をコンセプトに、屋根の一部を曲線とし、高低差のある周辺環境に馴染むような校舎をイメージして計画した。

## [平面計画]

- (2) 普通教室の配置について、学年単位で一つの空間を構成できる計画とし、学年ごとの活動や交流等に配慮した。
- (3) 多種多様な授業を展開させるため、多目的教室と談話コーナーの一体利用ができるように配置し、教師と生徒の自由な発想により利用できるよう計画した。

## [内装計画]

- (4) 内装の木質化により、木のぬくもりや素材の質感を感じられるように配慮した。

## [環境配慮計画]

- (5) LEDの照明器具や自動点滅器を採用し、節電、環境負荷の低減等に配慮した。
- (6) トイレの手洗いに自己発電型充電式の自動水洗を採用し、節電と衛生面に配慮した。

## [その他]

- (7) 冷房設備対応臨時交付金事業の活用により、エアコンを各教室に設置し、生徒をはじめとする施設利用者の健康面等に配慮した。
- (8) ICT教育に対応した情報配信システムを各教室に設置し、大型提示装置（65インチモニター）を利用した授業が円滑に運営できるよう配慮した。
- (9) 地域の協力により、樺山の森に植樹されていた杉を樺山館（多目的ホール）の内装の一部に利用するとともに、地域の歴史や文化の発信の場としての有効性を高めるため、常設展示コーナーを兼ね備えた。

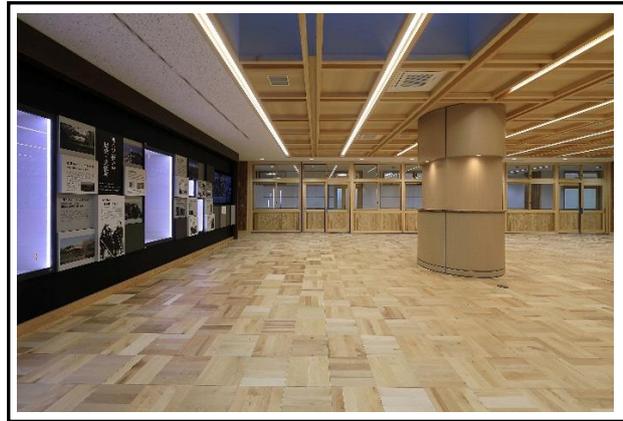


### 【校舎南側より】

グラウンドから校舎を望むと、背後に富士山が望め、周辺の環境、景観に配慮した意匠を意識した。屋根の一部を曲線にし、色合いをアースカラーにすることで自然の多い周辺環境に配慮した。

### 【多目的ホール 樺山館】

明治時代の偉人「樺山伯爵」の別荘跡地に建設されたことに由来するもので、地域の歴史や文化の発信・交流の場として整備した。屋外からの単独利用に配慮し、地域利用玄関や可動間仕切りを設置することにより、独立性を確保することも可能である。



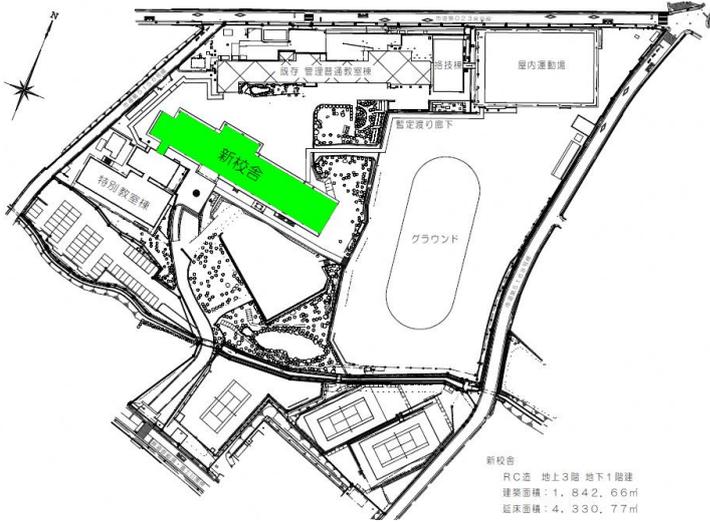
### 【談話コーナー】

多種多様な利用が可能なスペースで、生徒の主体的な活動や、創造性を発揮できる空間を意識して計画した。学年単位で設置しており、隣接する多目的教室とは、可動間仕切りを移動して一体空間としても利用できる。

### 【普通教室】

腰壁に県産材（杉板）を貼り、ぬくもりと木の素材が感じられる内装とした。ホワイトボードの横には、大型モニターを備え付け、授業で円滑に活用できるように配慮し、校内放送やデジタル教材等の使用が容易にでき、ICT教育に対応できる。





改築事業費	
設計監理費	138,400 千円
改築工事費	1,284,600 千円
計	1,423,000 千円
(面積当たり 328,600 円/m <sup>2</sup> )	

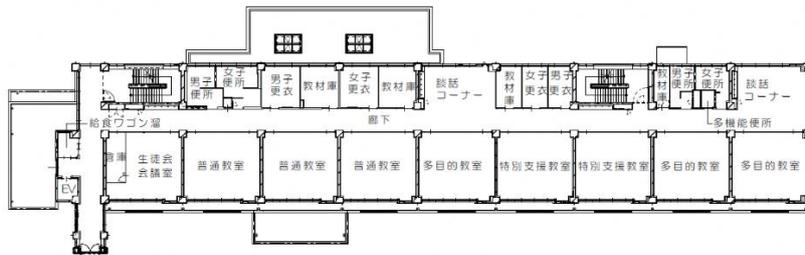
新校舎  
RC造 地上3階 地下1階建  
建築面積：1,842.66㎡  
延床面積：4,330.77㎡



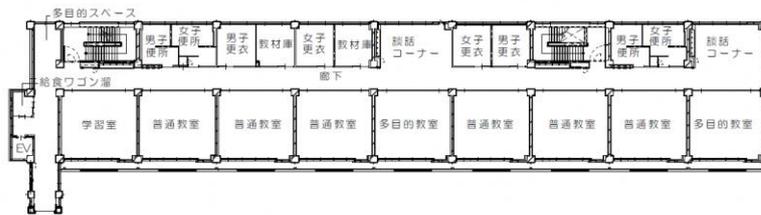
地下1階平面図



1階平面図



2階平面図



3階平面図

## 8. 西中学校屋内運動場改築事業 [令和5年1月完成]

### ～基本コンセプト～

- ・ 快適で使いやすい施設により、『品性を高め気力の充実に努める生徒の育成』を目指す
- ・ 主体性をはぐくみ、交流・活動の場として仲間意識を作り上げる施設整備
- ・ 豊かな人間性を育むゆとりと潤いのある安全な施設整備
- ・ スポーツのみならず、文化的な活動にも対応し得る多機能な施設整備
- ・ 富士山の眺望と敷地内の豊かな自然環境を尊重した環境整備
- ・ 地球温暖化等の環境への負荷低減に配慮した施設整備

### [外観計画]

- (1) 自然と歴史の継承をコンセプトとした校舎と周辺環境に馴染むよう、富士山の稜線を意識した勾配屋根や深い軒の出を採用し、建物軸を校舎と平行にすることで、施設全体の一体感を重視した。
- (2) 外壁仕上は清潔感のある白を基調とし、軒天井に採用した木目調の仕上げとのコントラストが映える計画とした。

### [平面計画]

- (3) 学校運営に必要なアリーナ規模を計画し、武道場や卓球場は個別利用が出来るよう、それぞれ独立した配置計画とした。
- (4) 校舎2階と屋内型の渡り廊下で接続することにより、荒天時でも安全に建物間を移動出来る計画とし、建物周囲の底下にもテラススペースを設け、生徒同士が交流できる場を配置した。

### [内装計画]

- (5) アリーナや卓球場の床仕上げには、耐摩耗性や耐水性に優れたスポーツ用弾性ビニル床シートを採用し、生徒や施設利用者の安全性に配慮した。
- (6) 内装の木質化により、木のぬくもりや素材の質感を感じられるように配慮した。
- (7) スポーツのみではなく文化的な利用にも考慮した環境となるよう、吸音性や耐久性のあるタモ化粧合板張り（有孔）を要所に計画し、音響効果に配慮した。

### [環境配慮計画]

- (8) 開口部を可能な限り大きく確保し、施設内に自然光を取り入れるとともに、直射日光を防ぐための大型庇を計画した。また、夏期の通風換気に配慮し、建物内上部にダクト換気設備を設けた。
- (9) LEDの照明器具や調光制御・昼光制御・自動点滅器を採用し、節電・環境負荷の低減等に配慮した。
- (10) 手洗いに自己発電型充電式の自動水洗を採用し、節電・節水と衛生面に配慮した。

### [その他]

- (11) 既存校舎と同様のICT教育に対応した情報配信システムを設置し、大型提示装置（65インチモニター等）を利用した学校運営ができるよう配慮した。
- (12) 北側市道から離れた建物配置とし、歩道や住宅地への日影を軽減することで、周辺地域の生活環境に配慮した。



### 【屋内運動場東側より】

建物背面の富士山のような重厚感や安定感のある外観を意識し、深い軒出や建物周囲の庇・テラスを計画した。外壁の一部に杉板打放型枠を使用することで、無機質なコンクリートを、自然の多い周辺環境と調和するように配慮した。

### 【アリーナ】

軽快感のある立体トラスを採用し、大きな開口部確保と内装を木質化することで大空間でも明るく木の温もりを感じられる開放的な空間となるよう計画した。スポーツのみではなく文化的な活動にも対応できるよう、最新の設備機器や音響機器等を設置した。



### 【武道場】

室内を落ち着いた雰囲気のある空間となるよう、内装を木質化かつ吸音性の高い仕上材を採用することで、静寂性や平穏性に配慮した。

既存校舎内のデジタル教材や放送設備等の一体利用に配慮し、大型モニターを設置した。

### 【卓球場】

卓球のみならず小規模な集会など、多目的に利用できるように独立配置とした。アリーナと同様に、耐摩耗性や安全性の高い床仕上材を採用し、ICT教育に対応した情報配信システムを設置した。

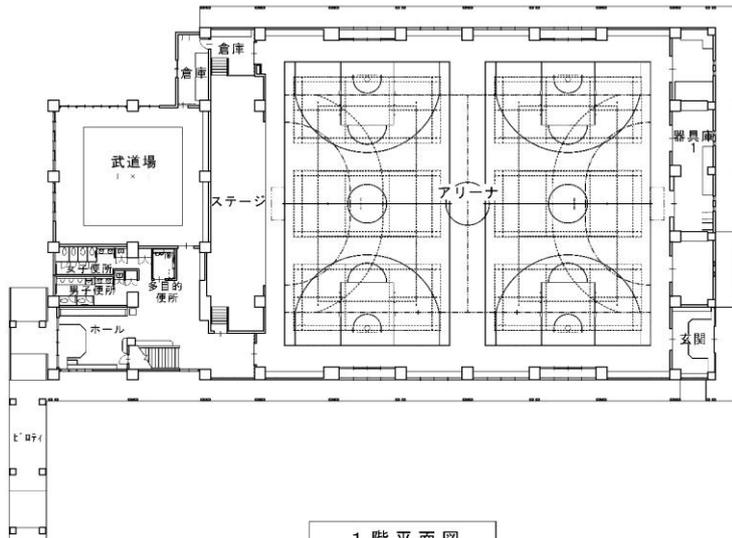




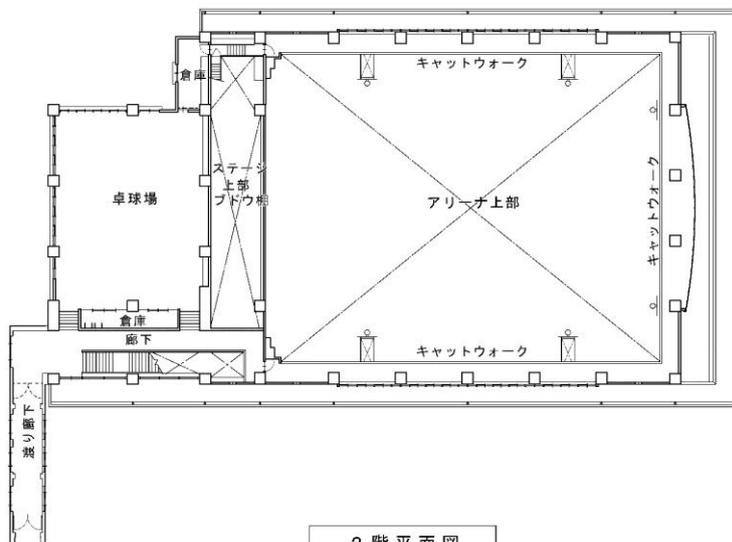
改築事業費

設計監理費	46,599 千円
改築工事費	881,342 千円
計	927,941 千円
(面積当たり 406,070 円/m <sup>2</sup> )	

新屋内運動場  
 RC造一部S造 地上2階建  
 建築面積：2,200.66㎡  
 延床面積：2,285.18㎡



1階平面図



2階平面図